

## 0570 | 造形基礎 II

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

三浦明範教授、重政啓治教授、永井研治教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、大浦一志教授、原一史教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、今井庸介講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、金子善明講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、佐々木敞講師、清水健太郎講師、神彌佐子講師、瀬島匠講師、東俊行講師、星見講師、松村繁講師、山本明比古講師、吉川民仁講師、渡邊洋講師、和田雄一講師

## 授業の概要と目標

観察と描写、つまり具体的な対象を目の前にし、見て描くことを行う。その際「このように見なければならぬ。」あるいは「このように描かなければならぬ。」という一般通念的な先入観を持たないように意識し、見えている像と描いている像を出来る限り近づける過程を通じて、現在の自分がどのように対象を見ているかを確認してみることがこの課題の目的である。また、対象の克明な追求により「見ること」「描くこと」の基礎体力を養い、基本的な造形要素の理解を深め、描材との接触を通じて描くことを体験する。

## 課題の概要

## ○通信授業課題

1-1 自分の頭部をデッサンする。

1-2 自分の手をデッサン、クロッキーする。

## ○面接授業課題

焦がした立方体または直方体の木材を描く。B2 以上の画用紙または木炭紙。描画材は基本的に鉛筆、木炭。その他コンテ、水彩絵具等の併用可。

## 授業計画

## [通信授業]

学習指導書『造形基礎 I～IV 平成 29 年度』の「造形基礎 II」を参照。

教科書『造形基礎』の「造形基礎 II 観察と描写」を参照。

## [面接授業]

第 1 日 午前：課題説明・制作 午後：制作（焦がした立方体または直方体の木材を描く）

第 2 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

○**OLP** オンラインプラス [準備] 一面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

## 成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 年次

[履修条件] なし

[備 考] 必修科目（3 年次編入学生を除く）。

1 年次に履修すること（2 年次編入学生は 2 年次）。3 年次編入学生は必修ではない。

地方会場でのスクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

## 教材等

教科書：『造形基礎』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形基礎 I～IV 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）